

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の 利用目的及び 利用方法》	●研究の名称 臨床実習および臨床実習前準備教育における医学生の技能に関する研究
	●研究の対象 2023年度に臨床実習（必修）を履修していた本学医学部医学科の学生 116名
	●研究の目的 医学教育におけるシミュレーション教育の導入は、患者への安全性を確立し、医療における専門的な手技を身につける上で非常に重要な役割を担っています。また、全国の医学部において、シミュレーション教育施設の設置が加速しており、浜松医科大学では、1995年に当時国内初となる米国 METI 社製高機能型患者シミュレータを導入して以来、数多くのシミュレータが導入され、現在では学生が24時間いつでもシミュレーションセンターを利用することが可能となっています。 しかし、本学学生がシミュレーション機材をどの程度使用しており、実際にシミュレーション教育を受けた学生がどのくらい臨床実習で実践しているかは不明です。 そこで本研究では、本学学生へアンケート調査を実施することにより、シミュレーションセンターの活動状況、および臨床実習の活動においてどのくらい手技をできたのか、の2点を明らかにします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2025年12月31日まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学第2シミュレーションセンターに設置されている利用記録台帳 利用人数、利用時間、使用機材等 ・ アンケート結果 回答者の性別、志望診療科、シミュレーションセンターの利用経験の有無、医療系超音波サークル HERUS に関する知識、臨床実習中の技能経験等
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 医学教育推進センター 大場健司</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>該当なし</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 医学教育推進センター 大場健司</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 医学教育推進センター 担当者： 大場健司 TEL： 053-435-2843 E-mail： ohbak@hama-med.ac.jp